公園での夏まつりで見た"手作りの木造の家"

小金井市の都立武蔵野公園にて、8月18日から27日の10日間、わんぱく夏まつりの会主催による「第33回わんぱく夏まつり」が開催された。この夏まつりは小金井市の11の団体(※)の参加協力により、どろんこ合戦や親子キャンプなどの公園や野川の自然を使った企画が行われる。その中でも特に木材で家を建てる「わんぱく村づくり」という企画に注目し取材を行った。インタビューに応じてくれたのは、本町児童館職員の佐藤守氏と小金井市東児童館職員の小竹進氏。

取材した24日の武蔵野公園には、夏まつりの門や遊具、そして木造の"家"が建ち、遠くからでもそれらがよく見えた。家の基本は堀立高床式。高さ120㎝ほどの高床部分があり、テント状の屋根が張られている。名前のついた複数の家が集まり、"村"を形成しているのだ。これらはすべて77人の「わんぱく団」と呼ばれる子どもと、リーダーと呼ばれる大人の手による手作りである。子ども達は6つのグループ(村)に分かれ、4〜5人のリーダーと共に家づくりを行う。リーダーの経験の度合いによって、それぞれ違った個性の家ができるそうだ。ある家は一階にあたる部分にベンチが設置されていたり、またある家には屋根に干し草が使われたりしている。掘立柱をはじめ、おおまかな構造部分の建設はほとんどリーダーの手で行われるが、その後の作業は子どもたちと一緒に行われる。とんかち、のこぎり、釘、番線などが主な道具。幼い子どもも、釘を打ったりなどなんらかの作業で建設に関わっているという。「子どもは帰宅すると自分の親に、『今日家を建ててきたんだよ。』と、さも自分一人で建てたように自慢げに話している、という話を聞くんですよ。」と笑顔で佐藤氏は話す。

真夏の炎天下、自分の建てた家の中で一休み。この家でどんなドラマが生まれるのだろう。

こちなみにこの建設材料は、府中市や地元の材木屋から譲ってもらい、実行委員会で集めたそうだ。量はトラック２〜３台分と聞いた。また東京電力が使っていた古電柱も使っているという。これは児童館などに保管され毎年大切に使っている。わんぱく夏まつりが終わると家は作った子どもたちの手で解体され、太い材は来年の建材として保管される。細かい材は最終日に大きな穴を掘って燃やすそうだ。

この短期間に大人と子どもが、簡単な道具で、人が入り寛ぐことができる“家”を“手作り”する経験はとても貴重なものとなっただろう。これは地域の大人の協力と“大人も子どもと共にわんぱくに本気で楽しむ”という姿勢があって、33回も毎年実現できているのだと思う。

ＰＳ：お近くで面白い事例がありましたらご紹介ください。(野村)

(※)エコロジカル野川の会／NPO法人ひ・ろ・こらぼ／小金井市環境市民会議／小金井にプレーパークを作る会／竹の子会／わんぱく夏まつりの会／NKW／小金井クリーン野川研究会／こがねい女性ネットワーク／子育てサロン@SACHI／野川ほたる村

わんぱく夏まつり公式サイト http://members.jcom.home.ne.jp/wanpaku-natsu

◎2007年8月末よりスウェーデンのイェーテボリ大学に留学することになった、木下さんによるレポートをお届けします!

Design from Sweden 2007

スウェーデンに向け出発し、途中デンマークに一日だけ宿泊しました。気分転換に友人と海岸を散歩しているときに見つけたのが、海水浴場の木材で作られた構造物です。

1

『デンマークで見つけた海水浴場』

木下 敬史　東京学芸大学大学院　美術教育専攻2年

2

3

コペンハーゲン国際空港からバスで15分程の所に私の宿泊しているホテルがありました。海が近かったので友人と海岸を散歩していた時に、海水浴場に備え付けられた木の構造物を見つけました。海に桟橋上に張り出した足場(1)です。8月終盤のデンマークの海岸は少し肌寒い風が吹いていましたが、現地の若者たちは、この木材でできた足場から海に思いきり飛び込みます。トイレ兼脱衣場、テーブル等も備え付けられています。私と友人はこの海水浴場の美しい形状にしばらく見とれてしまいました。

辺りを見回すと、公共トイレ(2)やゴミ箱(3)の側面も木材を使用していました。

本研究は以下の方々の御支援により2004年にスタート致しました。

大山プレカット協業組合　都城地区プレカット事業共同組合　銘建工業株式会社
笠原木材株式会社　有限会社長堂材木店　有限会社ラック
株式会社チクモク　有限会社藤井材木店　(敬称略・あいうえお順)

◎ (社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」2006年度助成事業

木活プロジェクト研究月報 vol.40

発　行：鉄矢悦朗研究室(環境プロダクトデザイン研究室)
Tel&Fax：042-329-7581
E - Mail：tetsu@u-gakugei.ac.jp
U R L：http://www.u-gakugei.ac.jp/%7Ew-woods/

発行日/2007.9.10　編集・デザイン/竹之内春菜、野村祥子